

### ホームページの改善とデータベースの作成

館報と共に本学図書館の広報媒体の中心であるホームページは、前述のコンピュータのリプレースによって資料検索システムが24時間のサービス体制になった。また、新たにデータベースの集合体である「世界の言語と国際地域研究」を作ってホームページ上に公開した。これは現在20ヶ国23本のデータベースから成っており、今後も他の国々を対象にして計画的に作成する予定である。さらに、同じくデータベース「京都から世界へ」、「ラフカディオ・ハーン・コレクション・データベース」も作成し、本学図書館のデータベース総数は32本になった。

### 出版物

図書館の出版物については、館報『GAIDAI BIBLIOTHECA』を148号から151号まで4回のクォーター形式で刊行した。また、図書館利用マニュアルや展示会目録なども発行した。

#### 出版物一覧

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| (1) 『LIBRARY GUIDE』2000年度版     | 平成12年 4月10日刊       |
| (2) 『GAIDAI BIBLIOTHECA』(図書館報) | 第148号 平成12年 4月10日刊 |
|                                | 第149号 平成12年 7月13日刊 |
|                                | 第150号 平成12年10月12日刊 |
|                                | 第151号 平成13年 1月10日刊 |

- (3) 『京都外国語大学オランダ・ウィーク

日蘭交流400周年記念稀観書展示会』(展示目録) 平成12年 6月 5日刊

#### オランダ・ウィークと稀観書展示会等の開催

平成12(2000)年が我が国とオランダが交渉を持ち始めて400年にあたることから、6月5日(月)より10日(土)にかけて本学図書館と本学の国際言語平和研究所が共催で「京都外国語大学オランダ・ウィーク」を開催した。図書館は展示会「日蘭交流400周年記念稀観書展示会」を5日から10日までを行い、355人が見学に訪れた。

また、同じく図書館が9日(金)に開いたフォーラム「オランダの若人は今! 日蘭文化交流の将来」は、マーストリヒト大学からの留学生と本学の学生から選ばれたパネリスト合計8名が意見を交換し、学生や市民104人の聴衆が詰めかけた。

なお、このオランダ・ウィークの開会式が初日の5日(月)に行われ、オランダ大使館のエルネスト・ブラーム一等書記官とオランダ総領事館のフレッド・デ・ブラウン商務部領事が森田理事長と共にテープ・カットを行った。

さらに、コピー室で一定期間ごとにテーマを変えて開催する小展示「ピックアップ・コーナー」は、合計7テーマをとりあげて出品した。

### 対外協力

対外協力業務は、私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会相互協力連絡会の委員館を平成5年より、また同連絡会世話人館を9年より担当しており、本学図書館は同連絡会委員館の業務として奈良産業大学図書館と共に平成12年度の共通閲覧証を発行し、加盟館へ配布した。

### 資料掲載・展示許可

本学図書館所蔵の稀観資料を個人、出版者、団体等が出版物に掲載するための写真撮影許可願や展示会への出展協力願は合計14件あり、図書館はこの全ての申し出について許可を与えた。なお、許可をした出版物や展示会には本学図書館の所蔵であることが明記された。

### 国立情報学研究所関連事業

文部科学省の大学共同利用機関である国立情報学研究所(旧学術情報センター)の関連事業として、本学図書館より同研究所へ15,098件の書誌データ作成登録を行った。

(図書館管理運営課)